

進路指導だより

「第1回進路学習会」を行いました

5月28日（金）に高等部は進路学習会を行いました。今回は、
障害者就業・生活支援センター<もしもしネット>で障害のある
方のサポートしている担当者を講師に招いて、就労支援や働くため
に必要なことなどについてお話をさせていただきました。



始めに「障害者就業・生活支援センター」の役割についてお話があり、一般就労
（＝障害のある人が企業に就職して働くこと）で働く障害者の仕事面や生活面をサ
ポートしている相談機関であることの説明がありました。実際に、東部地区にある企業
で働いている本校卒業生2名は、<もしもしネット>の支援を受けています。

つぎに「働くために大切なこと」のお話がありました。具体的に説明していただき、
就業体験をひかえた高等部の生徒たちにとって大変勉強になりました。



最後に、聴覚障害のある生徒向けに職場や
社会でうまくコミュニケーションする方法や、
お家の方へのアドバイスがありました。

今回の進路学習会で学んだことを、就業
体験や卒業後に活かしてほしいものです。

障害者就業・生活支援センターについて

- ・企業で働く障害者が、安心して「働くこと」「地域で生活すること」をサポートする。
- ・県内に4事業所ある…ワークス佐賀（中部）、ルート（北西部）、たちばな会（南部）
- ・就職活動や職場定着支援、健康管理など生活面の助言、各種手続きの相談など

働くために大切なこと

- ① 健康管理・日常生活管理 = 働くための土台
- ② 身だしなみ
- ③ あいさつ・コミュニケーション
- ④ 約束・ルールを守る
- ⑤ 無断で遅刻・欠勤・早退をしない
- ⑥ 金銭管理
- ⑦ スマホは使い方要注意

職場や社会でうまくコミュニケーションをするために

- わからない時は「わからない」をきちんと伝える。
- どんな配慮や支援があればわかりやすくなるかを周囲にお願いする。

- (例) ・ 朝礼や会議の内容をあらかじめ書面でもらう
- ・ 筆談用のノート、ブギーボードを携帯しておく
 - ・ UDトーク（アプリ）などICT機器の活用
 - ・ 大きな声でゆっくりと、口形が見えるように、一人ずつ発言などの配慮
 - ・ 職場の上司に相談して、悩みを抱え込まない

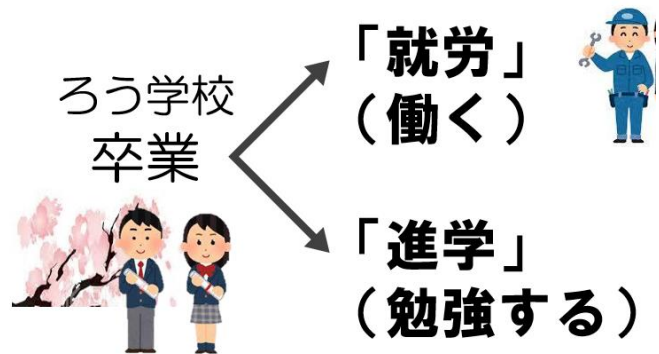
進路のおはなし～就労について（一般就労と福祉的就労）

以前にも「進路のおはなし」コーナーで、卒業後の主な進路として「就労」と「進学」があることを説明しました。

「就労」とは会社や福祉事業所、施設などで働くことを言います。

そして、「就労」も働く事業所や形態によって、「一般就労」と「福祉的就労」の2つがあります。「福祉的就労」はさらに3つに分けることができます。

次回から、それぞれの就労の特徴や違いについてお話をしていきます。



「就労」は「一般就労」と「福祉的就労」がある

